

令和2年度 管理業務主任者試験解答速報 【12/14版】

問1	2	問11	1	問21	4	問31	3	問41	3
問2	3	問12	3	問22	4	問32	2	問42	3
問3	4	問13	2	問23	2	問33	2	問43	1
問4	3	問14	2	問24	2	問34	3	問44	4
問5	1	問15	4	問25	1	問35	4	問45	3
問6	2	問16	3	問26	4	問36	3	問46	2
問7	2	問17	4	問27	4	問37	1	問47	3
問8	1	問18	2又は3	問28	3	問38	1	問48	4
問9	4	問19	1	問29	4	問39	2	問49	4
問10	1	問20	2	問30	4	問40	3	問50	1

※後日情報を更新する場合がございます。あらかじめご了承ください。

※この解答速報の著作権はTAC (株)のものであり、無断転載・転用を禁じます。

※TACの予想合格ラインは37点前後です。あくまでもTAC独自の予想であり、合格を保証するものではありません。本予想ラインは変更の可能性もございます。あらかじめご了承ください。

TAC 管理業務主任者講座

令和2年度管理業務主任者試験講評

(本試験所感)

問題全体の難易度は、昨年度と比べ、ひっかけ問題、個数問題（昨年より2問増え7問）や組合せ問題（昨年より2問増え5問）があったものの、解答を出しやすい問題が多かった。

今年度も、いかに過去問題の論点を把握し、同様論点の繰り返し問題から1点でも正解につなげ、得点を伸ばせたかが、合否を分ける要因となったのではないかと。

(民法・区分)

民法は、過去に出題されていない論点からの出題があったものの、基本的な条文からの出題が多く、現場で対応できたのではなかろうか。区分所有法は、一部具体的なあてはめを要する問題があり混乱したかもしれないが、全般的には基本的な知識を問うものが多く解きやすかったと思われる。

なお、昨年出題された建替え等円滑化法は出題されなかった。

(規約・会計)

標準管理規約や標準管理委託契約書は、基本的なものが多かった。税法は2年ぶりに出題された。

不動産登記法・個人情報保護法・宅建業法・品確法・借地借家法は基本的な内容であった。

会計は、従来知識で解けるものであった。また、住宅宿泊事業法が初めて出題された。

(維持・保全)

例年に比べ、過去問からの出題が多く、解答しやすかったと思われる。ただし、過去問のやや細かい論点からの出題もあるので、注意が必要である。また、長期修繕計画作成ガイドラインが昨年に続き出題された。引き続きの出題が予想されるので注意したい。

(適正化法)

昨年度と比べ、個数問題は同じく1問出題されたが、組合せ問題は2問出題された。しかし、難しい通達論点はなく、比較的解答を出しやすかったと思われる。

※この講評の著作権は TAC 株式会社のものであり、無断転載・転用を禁じます。